

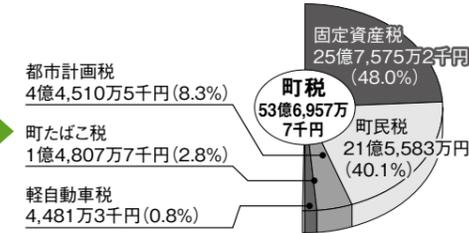
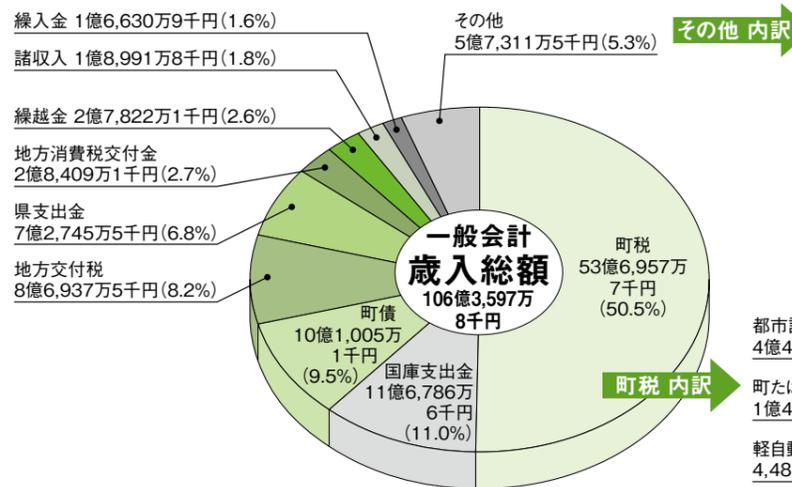
# 平成22年度 決算報告

皆さんが納めた税金や国・県からの補助金は私たちの生活をより良くするためにいろいろな形で使われています。今回は、平成22年度決算についてお知らせします。

▼問合せ 総務グループ ☎079(435)0357

分担金及び負担金…… 1億4,779万2千円  
 使用料及び手数料…… 1億2,382万9千円  
 地方譲与税…… 1億57万8千円  
 財産収入…… 8,234万7千円  
 地方特例交付金…… 5,193万3千円  
 自動車取得税交付金…… 2,638万3千円  
 利子割交付金…… 1,788万8千円  
 配当割交付金…… 1,151万4千円  
 交通安全対策特別交付金…… 689万8千円  
 株式等譲渡所得割交付金…… 385万円  
 寄附金…… 10万3千円

## 歳入総額 106億3,597万8千円



### 「年度」と「決算」

会計は、4月から翌年3月までの「年度」で区切られています。「決算」は、その年度においてどれだけ収入があり(歳入)、それがどのように使われたのか(歳出)を分類して集計したものです。

### 歳入

歳入については、総額106億3,597万8千円、歳出(支出)が98億8,522万8千円、歳入(収入)が106億3,597万8千円、歳出(支出)が98億8,522万8千円、差し引き8億2,745万5千円となり、これから翌年度(平成23年度)へ持ち越す96,111万円の黒字となりました。

このうち、皆さんから納めていた町税(町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税・都市計画税)は、53億6,957万7千円で、前年度に比べて約3億円、5.9%の増収となりました。その要因は、個人町民税では約1億2千万円の減収となるものの、法人町民税において約3億円の増、固定資産税で約1億2千万円の増となったことが主な要因です。

国庫支出金は、11億6,786万6千円で前年度に比べて約2千万円の減収となりました。これは新たに創設された子ども手当の負担金の交付によるものです。

### 一般会計の決算

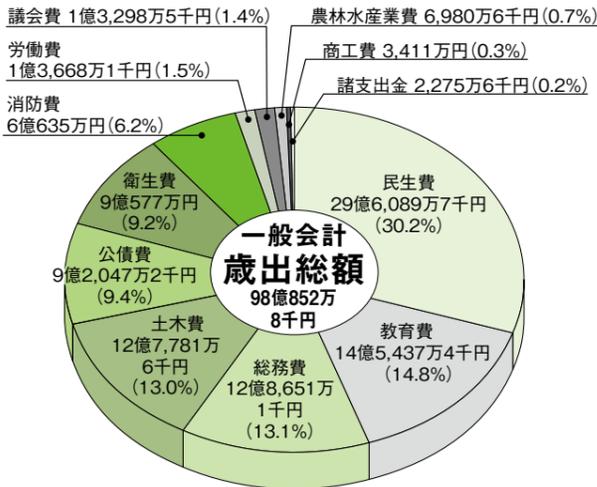
平成22年度の一般会計の決算額は、歳入(収入)が106億3,597万8千円、歳出(支出)が98億8,522万8千円、差し引き8億2,745万5千円となり、これから翌年度(平成23年度)へ持ち越す96,111万円の黒字となりました。

町民税(町民税)については、1億2,745万5千円、前年度に比べて約2千万円の減収となるものの、法人町民税において約3億円の増、固定資産税で約1億2千万円の増となったことが主な要因です。

国庫支出金は、11億6,786万6千円で前年度に比べて約2千万円の減収となりました。これは新たに創設された子ども手当の負担金の交付によるものです。

町の貯金でもある基金からの繰入金、1億6,630万9千円で、うち一般会計の歳入不足を補う財政調整基金からの繰入は、1億3,020万6千円で、前年度に比べて約1億1,000万円の減収となりました。また、平成22年度末の財政調整基金の残高は、約47億3,600万円となりました。

## 歳出総額 98億852万8千円



### 歳出

歳出は、総額98億8,522万8千円で、前年度に比べて3億3,677万1千円、3.2%の増となりました。

この中で、最も支出の多かったのは「民生費」で29億6,089万7千円、全体の30.2%を占め、健康いきいきセンターなどの運営や障がい者、高齢者などの社会福祉事業に約14億4,600万円、乳幼児等の医療費の助成や保育園の運営に加え、新たに創設された子ども手当の支給経費などの児童福祉事業に約15億

11,000万円を支出しました。次に多いのが「教育費」で14億5,437万4千円、全体の14.8%を占めています。小・中学校関係に約5億6,100万円、幼稚園関係に約3億3,200万円、公民館・コミセン・図書館などの運営や人権教育の充実など社会教育関係に約2億8,600万円、そしてスポーツ施設関係に約4,400万円を支出しました。

「総務費」は12億8,651万1千円、全体の13.1%を占め、町の一般的な管理事務経費である総務管理費に約10億6,200万円、税の賦課徴収等の費用の徴税費に約1億3,000万円を支出しました。

「土木費」は、12億7,781万6千円で全体の13.0%を占め、都市公園の維持管理や下水道事業会計への繰入など都市計画費として約6億6,700万円、町道浜幹線などの道路の新設改良事業を含む道路橋梁費に約5億1,500万円を支出しました。

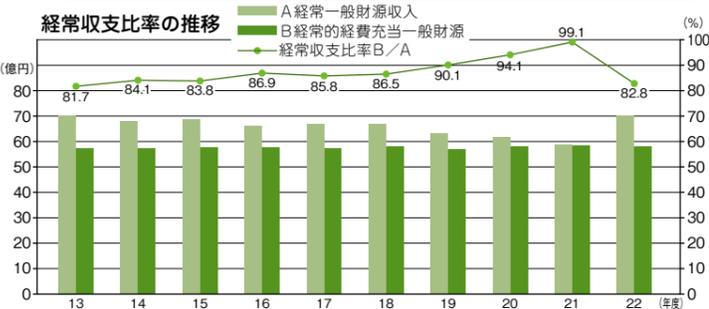
「公債費」は、9億2,047万2千円で全体の9.4%を占め、各種施設の建設・改修等のために借り入れたお金の返済に使用しました。

## 特別会計の状況 6つの特別会計の各決算額は次の通りです。

| 特別会計区分    | 歳入総額         | 歳出総額         | 歳入歳出差引額      |
|-----------|--------------|--------------|--------------|
| 国民健康保険事業  | 41億5,812万7千円 | 39億4,972万9千円 | 2億839万8千円    |
| 財産区       | 12億8,532万5千円 | 1億2,060万1千円  | 11億6,472万4千円 |
| 老人保健医療事業  | 21万5千円       | 21万5千円       | 0円           |
| 下水道事業     | 9億6,071万5千円  | 9億6,071万5千円  | 0円           |
| 介護保険事業    | 15億6,356万8千円 | 15億2,924万2千円 | 3,432万6千円    |
| 後期高齢者医療事業 | 2億6,384万5千円  | 2億5,766万6千円  | 617万9千円      |
| (合計)      | 82億3,179万5千円 | 68億1,816万8千円 | 14億1,362万7千円 |

## 経常収支比率の好転

99.1% (H21年度) ⇒ 82.8% (H22年度)



### 「経常収支比率」とは…

経常収支比率とは、人件費や公債費など経常的な支出に対して、町税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを示すもので、この比率が低いほど自由に使えるお金の割合が多くなり、財政構造の弾力性が高いといえます。

$$\text{経常収支比率}(\%) = \frac{\text{経常的経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源収入(経常的に入ってくる一般財源)}} \times 100$$

家計に例えれば 家賃、光熱水費、食費、ローン返済金など支出 給料、ボーナス、年金などの収入

上のグラフは、これまでの経常収支比率の推移を折れ線で表記し、「経常一般財源収入」と「経常的経費充当一般財源」を棒グラフで表したものです。これを見ますと、分子にあたる「経常一般財源収入」については年度間で大きなばらつきがあることがわかります。つまり、人件費、扶助費、公債費などの経常的な経費については、ほぼ一定に推移してきており、急激な増減はありませんが、経常的に入ってくる町税や普通交付税などの歳入については、年度によって大きく変化しており、これにより経常収支比率が大きく影響を受けていることがわかります。

これが、顕著に現れたのが今回の決算で、これまでで最も経常収支比率の高かった昨年度と比べると、経常的な経費についてはどちらも約58億円前後でほぼ同じですが、経常的に入ってくる町税や普通交付税などについては、昨年度が約58億8千万円に対し、今年度は約70億円と大きく増加したことにより分母の値が大きくなり、経常収支比率が、大きく好転する結果となりました。

## 平成22年度の財政健全化判断比率・資金不足比率

| 健全化判断比率  | 播磨町  | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|------|---------|--------|
|          |      | 実質赤字比率  | —      |
| 連結実質赤字比率 | —    | 19.29%  | 35.00% |
| 実質公債費比率  | 3.8% | 25.0%   | 35.0%  |
| 将来負担比率   | —    | 350.0%  | —      |

※赤字額がない場合、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示します。  
 ※将来負担比率については、算定されない場合「—」と表示します。

| 資金不足比率    | 播磨町 | 経営健全化基準 |
|-----------|-----|---------|
|           |     | 水道事業会計  |
| 下水道事業特別会計 | —   | 20.0%   |

※資金不足が生じない場合は「—」と表示します。

＜歳入＞町税…所得にかかる町民税や土地・建物に係る固定資産税など 国庫支出金、県支出金…事業を行うための国や県からの負担金や補助金 町債…事業を行うために借り入れたお金 繰入金…各種基金(預金)から一般会計へ繰り入れたお金  
 ＜歳出＞民生費…高齢者や障がい者、児童のための福祉など 総務費…財産管理や企画・税務事務など 教育費…学校や公民館の整備など 土木費…道路や公園の整備など 公債費…町債(借入金)の返済など 衛生費…ごみ・尿処理や予防接種など  
 消防費…消火・水防活動など 労働費…労働者への福利厚生など 議会費…議会の運営など 農林水産業費…農業・水産業の振興など 商工費…産業の振興や観光など

## 用語解説